

平成25年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト
 コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 上席執行役員 管理部長 (氏名) 大原 勲 TEL 06-6204-1193
 定時株主総会開催予定日 平成25年12月20日 配当支払開始予定日 平成25年12月24日
 有価証券報告書提出予定日 平成25年12月24日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期の連結業績（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期	7,625	8.1	1,295	19.2	1,258	19.5	648	14.0
24年9月期	7,054	△2.3	1,087	△12.1	1,052	5.6	569	△14.5

(注) 包括利益 25年9月期 631百万円 (1.5%) 24年9月期 621百万円 (6.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年9月期	61.66	60.24	16.2	18.1	17.0
24年9月期	53.73	52.75	14.8	16.3	15.4

(参考) 持分法投資損益 25年9月期 ー百万円 24年9月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期	7,045	4,062	57.6	387.40
24年9月期	6,826	3,952	57.9	373.34

(参考) 自己資本 25年9月期 4,060百万円 24年9月期 3,950百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年9月期	732	174	△1,023	1,000
24年9月期	1,401	△246	△456	1,115

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年9月期	ー	15.00	ー	20.00	35.00	370	65.1	9.7
25年9月期	ー	20.00	ー	20.00	40.00	419	64.9	10.5
26年9月期(予想)	ー	20.00	ー	20.00	40.00		55.9	

(注) 24年9月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成26年9月期の連結業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,945	2.5	645	7.2	615	7.6	355	54.0	33.87
通期	8,090	6.1	1,360	5.0	1,300	3.3	750	15.6	71.56

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

詳細は、添付資料16ページ「3. 連結財務諸表（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

25年9月期	10,999,100株	24年9月期	10,999,100株
25年9月期	518,975株	24年9月期	417,775株
25年9月期	10,522,930株	24年9月期	10,594,427株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成25年9月期の個別業績（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期	7,313	6.6	1,223	16.4	1,191	16.6	590	8.3
24年9月期	6,862	△2.6	1,051	△12.2	1,021	△9.4	544	85.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期	56.08	54.79
24年9月期	51.42	50.48

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期	6,798	4,012	59.0	382.63
24年9月期	6,708	3,961	59.0	374.16

(参考) 自己資本 25年9月期 4,010百万円 24年9月期 3,959百万円

2. 平成26年9月期の個別業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,695	△0.6	600	2.4	570	2.3	330	50.6	31.48
通期	7,545	3.2	1,255	2.5	1,200	0.7	695	17.8	66.31

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

2. 当社は平成25年11月13日（水）に機関投資家向け説明会を行う予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	5
(4) 会社の対処すべき課題	6
(5) その他、会社の経営上重要な事項	6
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(会計上の見積りの変更)	16
(セグメント情報等)	17
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21
(開示の省略)	21

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

① 当連結会計年度の概況

当連結会計年度（平成24年10月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和により、企業業績や個人消費に回復傾向が現れ景気は緩やかに回復しつつあるものの、欧州や米国の債務問題や新興国の成長の減速等、先行きの不透明感は依然として残っております。

保険業界におきましては、国内の景況感に対する改善期待の高まりにより生活防衛意識に一服感が見られるなど保険販売環境としては逆風下にありましたが、一方で、保険に対する底堅いニーズに着実にアプローチできる当社の強みが発揮できる状況下にありました。

このような状況の下、当社グループは、保険流通改革のパイオニア企業として情報メディアサイト「保険市場（ほけんいちば）」を主軸とする「Web to Call to Real」の一气通貫型サービスにより、お客様のあらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進してまいりました。

特に、ネット利用の中でスマートフォンの比重が加速度的に増加している為、当社では最先端のテクノロジーを駆使し、スマートフォン・タブレットに適した保険の比較・申込サービスの拡充や、より気軽に保険に触れていただけるアプリの開発によってユーザビリティを向上させることで、保険における“ショールーミング”に対応しております。

さらに、当社独自開発の顧客管理システムを活用したCRM戦略を進めると共に同システムのデータベースとテレマーケティング部門の機能向上・増強と合わせて万全の顧客管理体制を構築しながら、高度なお客様サービスを実現し、保険に対する潜在ニーズにアプローチしております。また、対面販売部門では当社運営の情報メディアサイト「保険市場」（<http://www.hokende.com/>）とのシナジー効果の最大化と商談環境の整備充実によるお客様サービスの向上、社員教育の高度化・営業力の強化を目指し、経営資源の集中を踏まえた営業体制の抜本的な見直しを行い、商業施設系の販売拠点を都市圏のランドマーク的オフィスビル内の拠点に順次統合いたしました。

広告代理店事業においては、情報メディアサイト「保険市場（ほけんいちば）」の価値向上に比例して収益力が高まっており、また、再保険事業においても保険代理店との相乗効果により着実に取扱高を拡大するなど、全ての事業セグメントにおいて連結業績に貢献できる体制が整ってまいりました。

以上の結果、売上高は、7,625百万円（前期比8.1%増）、営業利益は、1,295百万円（前期比19.2%増）、経常利益は1,258百万円（前期比19.5%増）、当期純利益は648百万円（前期比14.0%増）となりました。

（単位：百万円、前期比%）

	連結ベース		単体ベース	
	金額	前期比%	金額	前期比%
売上高・営業収益	7,625	108.1	7,313	106.6
営業利益	1,295	119.2	1,223	116.4
経常利益	1,258	119.5	1,191	116.6
当期純利益	648	114.0	590	108.3

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、営業収益は7,313百万円（前期比6.6%増）、営業利益は1,223百万円（前期比16.4%増）となりました。

広告代理店事業におきましては、売上高は188百万円（前期比3.4%減）、営業利益は31百万円（前期比2.4%増）となりました。

再保険事業におきましては、売上高は269百万円（前期比75.2%増）、営業利益は36百万円（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

②次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国内の景気回復期待が高まる一方、消費税増税の影響や日米欧の深刻な債務問題等景気に重要な影響を与えるリスク要因は残っており、為替や金利動向についても不透明さが増していくものと考えられます。

このような景気動向の中、保険の購買環境としては必ずしも順風ではないことが想定される一方、社会保障制度等に対する不自信も根強く、不透明さが増す将来への備えとして民間保険に対するニーズは底堅いことが予想されます。

かかる経営環境の下、当社は「お客様が最適・快適な購買環境で、簡単便利に保険を購入いただく」という経営方針の下、お客様のニーズやマーケット動向に機敏に対応し、業績の向上に努めてまいります。

主要な施策としましては、

- i) 当社は保険業界のイノベーターとして常に進化し続けるべく人材の育成・強化を図ってまいります。
- ii) Webマーケティングを強化するとともにスマートフォン等モバイル端末の対応を強化し、「プラットフォーム戦略」をさらに推進してまいります。これにより、今後、取扱保険会社並びに商品共に更なる増加が見込まれますネット購買型保険商品の販売強化に努めてまいります。
- iii) ICT機能の強化により「協業」代理店の効率の拡大を図り、お客様ニーズに効率的かつ効果的に対応できる体制を構築し、当社の業績進展を図ってまいります。
- iv) 保険代理店事業を中心として広告代理店事業及び再保険事業のシナジーを最大限追求し、保険に係る全ての収益にアプローチすべく「総合保険事業」の確固たる営業基盤を構築してまいります。

次期（平成25年10月～平成26年9月）の連結業績につきましては、売上高8,090百万円、営業利益1,360百万円、経常利益1,300百万円、当期純利益750百万円を想定しております。

(2)財政状態に関する分析

当連結会計年度における総資産は、219百万円増加し7,045百万円となりました。これは主に売掛金の増加605百万円及び投資有価証券の減少122百万円によるものです。負債はリース債務の増加等により109百万円増加し2,983百万円となり、純資産は109百万円増加し4,062百万円となりました。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー収入732百万円及び投資活動によるキャッシュ・フローの収入174百万円があったものの、財務活動によるキャッシュ・フローの支出1,023百万円があったため、115百万円減少し、1,000百万円となりました。

当連結会計年度中における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度は、税金等調整前当期純利益1,063百万円を計上したこと等により、営業活動により獲得した資金は732百万円（前連結会計年度は1,401百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果獲得した資金は、投資有価証券の売却による収入165百万円等があり、174百万円（前連結会計年度は246百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額420百万円及び社債の償還による支出380百万円等があり、1,023百万円（前連結会計年度は456百万円の支出）となりました。

キャッシュ・フロー指標のトレンドは次のとおりです。

	平成21年9月期	平成22年9月期	平成23年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
自己資本比率 (%)	46.4	45.8	61.4	57.9	57.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	75.7	72.6	168.1	120.9	173.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.2	1.6	1.6	1.1	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	26.1	28.5	32.5	61.6	29.2

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

1. 各指標は、連結ベースの財務数値により計算しています。
2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いはキャッシュ・フロー計算書に計上している「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しています。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元と保険流通市場におけるシェアの拡大を経営の重要課題として位置付けております。将来の成長戦略を遂行していくための原資となる内部留保の充実に努めると共に、業績に応じた配当の実施等により、株主価値を高めることを基本方針としております。

当該方針に基づき、当事業年度の期末配当金につきましては、1株当たり20円といたします。既に平成25年6月10日に実施済みの第2四半期配当金1株当たり20円とあわせまして、年間配当金は1株当たり40円となります。

また、次期につきましては、第2四半期配当金、期末配当金をそれぞれ1株につき20円とし、1株当たり年間配当金を40円とする見込みであります。

2. 経営方針

(1)会社の経営の基本方針

当社グループの企業使命と企業理念は以下のとおりです。

〔使命〕真の消費者志向の「保険の小売業」を目指し、積極的な人材育成と不易流行の企業文化の醸成を図り、高品質なサービスを提供することにより、地域・社会に貢献し信頼される企業となり、保険販売業の新しい在り方を提案します。

〔理念〕We are Your AGENT! 消費者の利便性を重視した最適・快適に購入できる保険流通市場を創造し、生活必需品である保険を、高い「お客様満足度」と共に購入していただく。

社会環境や個人の価値観の変化から、「保険」という商品は他者から勧められるままではなく、各個人が個人の判断で「選別・選択」する時代になってきました。いかにすれば、適切な負担で適切な保障を得られるかという情報を自分で収集し判断する「賢い合理的な消費者」の方々に支持されるよう、今後とも取扱商品の充実と顧客サービスのさらなる向上に邁進するとともに、お客様のニーズに合った販売チャネルを創設し、心のこもったお付き合いを永続させ、ライフ・タイム・バリューにおける顧客シェアを拡大いたします。

(2)目標とする経営指標

当社グループでは企業価値の増大を目標としており、そのための経営指標として、ROE（株主資本利益率）の向上を目指しています。

また、当社グループの主要事業である保険代理店事業の収益構造は、代理店手数料が大半であり、その手数料収入のうち、新規契約にかかる手数料収入が概ね8割を占め、残り2割につきましては既契約分で5～10年程度の長期間に亘り支払われる代理店手数料に拠ります。

従いまして、当社は、期間損益に反映する新規契約に加えまして、ストック（保有契約）から長期的に得られる未実現収益：PV（Present Value；将来（10年）の手数料収入見込の累計額の現在価値）を当社独自の重要な経営指標として捉えております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

今期以降の成長戦略として、当社グループは以下の6分野に注力するとともに、それぞれの持ち味を活かし、相乗効果を重視した運営を実施してまいります。

① インターネットによるプロモーション活動の強化

情報通信関連分野の技術革新のスピードは目覚ましく、時代は着実にアナログからデジタルへの移行を速めております。当社グループのWeb等を活用したBtoCマーケティングは次の2つのサイトをメインに展開しており、お客様の立場に立った使いやすさを追求すること等により、一層のシェア拡大を目指してまいります。

- ・「保険市場（ほけんいちば）」 [http://www.hokende.com]

商品種類毎に一覧表で比較検討ができる日本最大級の保険比較サイトで、取扱保険会社は73社に及んでおります。（平成25年9月末現在）

- ・「自動車保険市場」 [http://auto.hokende.com]

一括見積り可能な自動車保険見直しサイトで、取扱保険会社は10社に及んでおります。

また、BtoBマーケティングにおきましては以下のサイトをメインに展開しております。

- ・「法人保険市場」 [http://hojin.hokende.com]

企業が抱える、経営者の退職金や事業継承・相続、福利厚生や情報漏洩事故等に対して、リスクマネジメントの観点から保険をご案内しております。

② コンサルティングプラザ「保険市場（ほけんいちば）」の拡充と質的向上

“「売りに行く」から「買いに来ていただく」へ”のコンセプトのもと、お客様が自分にあった保険を店頭で自由に選択できるコンサルティングプラザ「保険市場（ほけんいちば）」は、社会的認知度の向上、顧客ニーズに支えられ、安定した売上(収益)を計上しております。お客様の志向がますます高度化・多様化しておりますので、教育制度、人事制度の見直しと徹底した社員教育の下、さらにお客様本位の営業体制を構築してまいります。加えまして、お客様の地域属性が都市部に集中していることに対応し、3大都市圏を主体にターミナル立地で、「より便利に」「より分りやすく」「より広く」を新たなコンセプトとして付加した大型店舗を展開してまいります。

③ 通信販売部門の強化

「通信販売部門」では、フルフィルメントサービスを行っております。業務処理品質面で保険会社各社から高い評価を得ております。今後も、Webサイト「保険市場（ほけんいちば）」の成長に相乗した販売増加とCRM戦略を担う重要部門としての成長施策を講じてまいります。

④ テレマーケティング業務の強化

資料を請求いただいたお客様に対し、コールセンターから素早くアプローチを行うことにより、通信販売、訪問営業、ショップ販売等の成約率向上のシナジー効果を発揮しております。今後、さらにCRM戦略推進を担う部門としてマーケティングノウハウを強化、活用してまいります。

⑤ 協業戦略の強化

インターネットの普及に伴い、Webサイト「保険市場（ほけんいちば）」を通じて各保険会社商品の資料請求情報を大量に入手しておりますが、当社の事業インフラのみでは対応できない状況にありますので、元受保険会社及び全国的規模で来店型保険ショップやコンサルティング営業を展開する他の保険代理店と「協業提携」により情報共有しながら対応しております。また、銀行系カード会社とのサイト協業による協業戦略を開始しておりますが、サイト協業の拡充をもう一つの柱として推進してまいります。今後、「保険ポータルサイト戦略」を進める中で情報の質・量ともに一層の充実が見込まれますので、「協業提携」をさらに積極的に展開し、「比較検討・選択」というお客様ニーズをより広範囲に実現するとともに、情報の収益化を進めてまいります。

⑥ 再保険事業の強化

当社の中核事業である保険代理店事業の営業成果をベースとして、再保険事業の拡大強化を図ってまいります。保険会社の販売強化支援、新商品開発への協力を進めながら、紐帯強化の一環として事業展開を図ってまいります。これにより、代理店手数料収入に加え、新たな収益源として再保険料収入を拡大してまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

保険マーケットは、少子高齢化の進展などにより構造的には縮小が想定されますが、求められる役割が「遺族保障の提供」から「年金・社会保障の補完」・「子供の教育資金」等のライフプラン全般へと広がっております。また、消費者行動が、「より便利に快適に」を求めて多様化しており、保険ニーズはますます多様化、高度化してきております。

かかる状況を踏まえ、保険代理店事業における非対面販売におきましては、引き続き保険通信販売マーケットでのシェア拡大を目指し、効果的なプロモーションの継続、積極的な新規媒体の開発・導入、保険会社及び取扱商品の拡充を実施いたします。特に、プロモーションチャンネルとしてますます重要度を増しているWeb（インターネット）チャンネルにおいては、投資効率を維持しつつさらなる拡大を追求してまいります。また、対面販売におきましては、その核となる、コンサルティングプラザ「保険市場（ほけんいちば）」を拡充するとともに、お客様のコンシェルジュとして、あらゆるニーズに誠心誠意お応えすべく、社員の教育、研修体制を徹底してまいります。

一方、管理面では、内部監査室による当社各部門、各支店並びに子会社に対する内部監査を実施しております。また、コンプライアンス部においてコンプライアンス体制の充実、強化を図るとともに、啓発活動に努めており、グループ全従業員に対して継続的な啓発活動と監査を積み重ねることにより、管理体制の充実、向上を図ってまいります。

また、内部統制の強化は顧客や社会から信頼される企業として重要な経営課題であると認識し、より一層の体制整備に努めてまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当連結会計年度 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,118,736	1,003,070
受取手形及び売掛金	1,869,680	2,474,986
繰延税金資産	118,584	123,897
その他	254,147	235,848
貸倒引当金	—	△3,000
流動資産合計	3,361,149	3,834,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	434,086	313,282
減価償却累計額	△196,700	△144,812
建物及び構築物(純額)	237,385	168,469
工具、器具及び備品	342,566	337,715
減価償却累計額	△241,113	△267,178
工具、器具及び備品(純額)	101,453	70,536
リース資産	229,066	516,191
減価償却累計額	△61,996	△124,259
リース資産(純額)	167,070	391,932
有形固定資産合計	505,908	630,938
無形固定資産		
のれん	93,589	66,849
広告実施権等	111,093	—
ソフトウェア	308,445	263,404
リース資産	91,366	143,070
その他	38,072	69,586
無形固定資産合計	642,566	542,911
投資その他の資産		
投資有価証券	331,412	209,248
差入保証金	634,620	572,285
保険積立金	1,187,647	1,057,323
繰延税金資産	70,507	110,507
その他	71,416	81,668
貸倒引当金	—	△5,250
投資その他の資産合計	2,295,603	2,025,783
固定資産合計	3,444,078	3,199,632
繰延資産	21,554	11,366
資産合計	6,826,783	7,045,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当連結会計年度 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	380,000	380,000
リース債務	77,433	162,653
未払法人税等	318,222	294,122
未払金	401,081	454,823
賞与引当金	129,452	126,451
店舗閉鎖損失引当金	11,060	—
代理店手数料戻入引当金	44,853	82,633
事業再編損失引当金	—	11,640
資産除去債務	2,050	—
その他	178,387	179,532
流動負債合計	1,542,542	1,691,856
固定負債		
社債	880,000	500,000
退職給付引当金	114,480	145,939
リース債務	199,745	418,965
資産除去債務	46,560	68,809
その他	90,943	158,148
固定負債合計	1,331,729	1,291,862
負債合計	2,874,272	2,983,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	475,193	475,193
利益剰余金	795,405	1,022,295
自己株式	△293,525	△393,308
株主資本合計	3,892,388	4,019,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,062	40,528
その他の包括利益累計額合計	58,062	40,528
新株予約権	2,060	2,060
純資産合計	3,952,511	4,062,082
負債純資産合計	6,826,783	7,045,802

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,054,046	7,625,767
売上原価	1,779,408	1,974,575
売上総利益	5,274,638	5,651,191
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	22,561	15,325
通信費	180,451	180,649
報酬給与	1,548,664	1,551,086
賞与引当金繰入額	129,452	126,451
退職給付費用	36,467	38,900
減価償却費	358,793	358,041
のれん償却額	26,739	26,739
地代家賃	596,213	530,407
支払手数料	433,986	614,556
その他	854,248	913,750
販売費及び一般管理費合計	4,187,577	4,355,908
営業利益	1,087,060	1,295,282
営業外収益		
受取利息	807	1,527
受取配当金	1,165	5,975
投資有価証券売却益	—	3,518
為替差益	—	1,674
投資事業組合運用益	—	3,211
その他	5,784	2,637
営業外収益合計	7,756	18,543
営業外費用		
支払利息・社債利息	24,093	25,099
開業費償却	290	290
社債発行費償却	8,632	8,847
貸倒引当金繰入額	—	8,250
支払保証料	5,471	7,225
その他	3,718	6,103
営業外費用合計	42,205	55,815
経常利益	1,052,611	1,258,010
特別利益		
投資有価証券売却益	1,309	71,535
特別利益合計	1,309	71,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
特別損失		
投資有価証券売却損	8,779	—
保険解約損	—	51,118
固定資産除却損	13,420	35,112
店舗閉鎖損失	18,683	1,465
事業再編損	—	168,154
その他	—	10,000
特別損失合計	40,884	265,850
税金等調整前当期純利益	1,013,037	1,063,695
法人税、住民税及び事業税	306,166	450,473
法人税等調整額	137,526	△35,622
法人税等合計	443,692	414,851
少数株主損益調整前当期純利益	569,344	648,844
当期純利益	569,344	648,844

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	569,344	648,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,379	△17,534
その他の包括利益合計	52,379	△17,534
包括利益	621,724	631,309
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	621,724	631,309
少数株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	2,915,314	2,915,314
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,915,314	2,915,314
資本剰余金		
当期首残高	483,707	475,193
当期変動額		
自己株式の処分	△8,514	—
当期変動額合計	△8,514	—
当期末残高	475,193	475,193
利益剰余金		
当期首残高	544,751	795,405
当期変動額		
剰余金の配当	△318,690	△421,955
当期純利益	569,344	648,844
当期変動額合計	250,653	226,889
当期末残高	795,405	1,022,295
自己株式		
当期首残高	△212,873	△293,525
当期変動額		
自己株式の取得	△99,986	△99,783
自己株式の処分	19,334	—
当期変動額合計	△80,652	△99,783
当期末残高	△293,525	△393,308
株主資本合計		
当期首残高	3,730,900	3,892,388
当期変動額		
剰余金の配当	△318,690	△421,955
当期純利益	569,344	648,844
自己株式の取得	△99,986	△99,783
自己株式の処分	10,819	—
当期変動額合計	161,487	127,106
当期末残高	3,892,388	4,019,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	5,682	58,062
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	52,379	△17,534
当期変動額合計	52,379	△17,534
当期末残高	58,062	40,528
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,682	58,062
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	52,379	△17,534
当期変動額合計	52,379	△17,534
当期末残高	58,062	40,528
新株予約権		
当期首残高	2,060	2,060
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,060	2,060
純資産合計		
当期首残高	3,738,643	3,952,511
当期変動額		
剰余金の配当	△318,690	△421,955
当期純利益	569,344	648,844
自己株式の取得	△99,986	△99,783
自己株式の処分	10,819	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	52,379	△17,534
当期変動額合計	213,867	109,571
当期末残高	3,952,511	4,062,082

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,013,037	1,063,695
減価償却費	358,793	358,041
店舗閉鎖損失	18,683	1,465
繰延資産償却額	9,972	10,187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	8,250
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,641	△3,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28,463	31,459
代理店手数料戻入引当金の増減額(△は減少)	10,049	37,779
受取利息及び受取配当金	△1,972	△7,502
支払利息及び社債利息	24,093	25,099
固定資産除却損	13,420	35,112
事業再編損失	—	168,154
保険解約損益(△は益)	—	51,118
売上債権の増減額(△は増加)	△121,155	△585,739
その他	90,469	117,238
小計	1,453,497	1,311,359
利息及び配当金の受取額	3,656	7,502
利息の支払額	△22,741	△25,100
法人税等の支払額	△25,813	△473,505
事業再編による支出	—	△87,868
その他	△6,921	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,401,678	732,387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△91,261	△1,410
投資有価証券の売却による収入	1,632	165,613
有形固定資産の取得による支出	△96,540	△43,132
無形固定資産の取得による支出	△35,304	△134,935
無形固定資産の売却による収入	—	51,666
貸付けによる支出	△1,800	△1,200
貸付金の回収による収入	34,566	7,134
保険積立金の取得による支出	△66,659	△44,045
保険積立金の減少による収入	—	123,303
差入保証金の組み入れによる支出	△84,560	△83,471
差入保証金の解約による収入	105,284	145,806
その他	△11,619	△11,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246,262	174,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,385,000	3,250,000
短期借入金の返済による支出	△2,086,000	△3,250,000
社債の発行による収入	979,968	—
社債の償還による支出	△280,000	△380,000
自己株式の取得による支出	△99,986	△99,783
配当金の支払額	△317,553	△420,501
その他	△37,769	△123,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△456,340	△1,023,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	△428	1,674
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	698,646	△115,667
現金及び現金同等物の期首残高	417,069	1,115,716
現金及び現金同等物の期末残高	1,115,716	1,000,049

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、移転・退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額を変更前の資産除去債務残高に14,944千円加算しております。

なお、当該見積りの変更は、当連結会計年度末において行ったため、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とした単位により事業活動を展開しております。

従って当社グループは事業の種類に基づき「保険代理店事業」、「広告代理店事業」、「再保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は以下の通りであります。

保険代理店事業 生命保険、損害保険の代理店業及び付帯業務

広告代理店事業 Webプロモーションその他広告業務取扱い及び企画、制作並びにマーケティング等サービス活動

再保険事業 再保険業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,772,768	127,472	153,806	7,054,046	7,054,046	—	7,054,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,322	67,476	—	156,798	156,798	△156,798	—
計	6,862,090	194,949	153,806	7,210,845	7,210,845	△156,798	7,054,046
セグメント利益	1,051,591	31,228	1,840	1,084,660	1,084,660	2,400	1,087,060
セグメント資産	6,339,672	189,803	323,693	6,853,169	6,853,169	△26,386	6,826,783
セグメント負債	2,747,531	23,223	129,902	2,900,658	2,900,658	△26,386	2,874,272
その他の項目							
減価償却費	358,793	—	—	358,793	358,793	—	358,793
のれんの償却額	26,739	—	—	26,739	26,739	—	26,739
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	253,104	—	—	253,104	253,104	—	253,104

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額2,400千円にはセグメント間取引消去2,400千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△26,386千円にはセグメント間取引消去△26,386千円が含まれております。

(3) セグメント負債の調整額△26,386千円にはセグメント間取引消去△26,386千円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自平成24年10月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	保険代理店 事業	広告代理店 事業	再保険事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,202,865	153,419	269,482	7,625,767	7,625,767	—	7,625,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110,533	34,951	—	145,485	145,485	△145,485	—
計	7,313,399	188,371	269,482	7,771,253	7,771,253	△145,485	7,625,767
セグメント利益	1,223,919	31,977	36,985	1,292,882	1,292,882	2,400	1,295,282
セグメント資産	6,429,032	232,988	427,343	7,089,363	7,089,363	△43,561	7,045,802
セグメント負債	2,785,961	47,003	194,316	3,027,281	3,027,281	△43,561	2,983,719
その他の項目							
減価償却費	358,041	—	—	358,041	358,041	—	358,041
のれんの償却額	26,739	—	—	26,739	26,739	—	26,739
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	563,331	—	—	563,331	563,331	—	563,331

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額2,400千円にはセグメント間取引消去2,400千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△43,561千円にはセグメント間取引消去△43,561千円が含まれております。

(3) セグメント負債の調整額△43,561千円にはセグメント間取引消去△43,561千円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

3. 「会計上の見積りの変更」に記載の通り、資産除去債務の見積りの変更を行っております。この変更に伴う、当連結会計年度のセグメント利益に与える影響はありません。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」の中で同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
メットライフアリコ生命保険株式会社	3,348,258	保険代理店事業、広告代理店事業、再保険事業

当連結会計年度（自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」の中で同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
メットライフアリコ生命保険株式会社	4,317,809	保険代理店事業、広告代理店事業、再保険事業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日）
該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			計	その他	合計	全社・消去	合計
	保険代理店事業	広告代理店事業	再保険事業					
当期末残高	93,589	—	—	93,589	—	93,589	—	93,589

(注) のれんの償却額は、「セグメント情報」に記載しているため、注記を省略しております。

当連結会計年度（自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			計	その他	合計	全社・消去	合計
	保険代理店事業	広告代理店事業	再保険事業					
当期末残高	66,849	—	—	66,849	—	66,849	—	66,849

(注) のれんの償却額は、「セグメント情報」に記載しているため、注記を省略しております。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日）
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)		当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)	
1株当たり純資産額	373.34 円	1株当たり純資産額	387.40 円
1株当たり当期純利益金額	53.73 円	1株当たり当期純利益金額	61.66 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	52.75 円	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	60.24 円

(注) 1株当たり当期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	569,344	648,844
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	569,344	648,844
期中平均株式数(株)	10,594,427	10,522,930
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	197,448	247,515
(うち新株予約権(株))	(197,448)	(247,515)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

連結貸借対照表関係、連結損益計算書関係、連結包括利益計算書関係、連結株主資本等変動計算書関係、連結キャッシュ・フロー計算書関係、リース取引関係、税効果会計関係、金融商品関係、有価証券関係、退職給付関係、ストック・オプション等関係、資産除去債務関係、企業結合等関係、賃貸等不動産関係に関する注記については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため記載を省略しております。